

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第8号)のトピックス

- 48週(11月25日～12月1日)のインフルエンザ患者報告数は2,547人、
 定点当たり 6.17人(去年同期 定点当たり 0.94人)
- 48週のインフルエンザ様疾患による集団発生事例は106件
- 全国の定点当たり患者報告数は定点当たり 5.52人

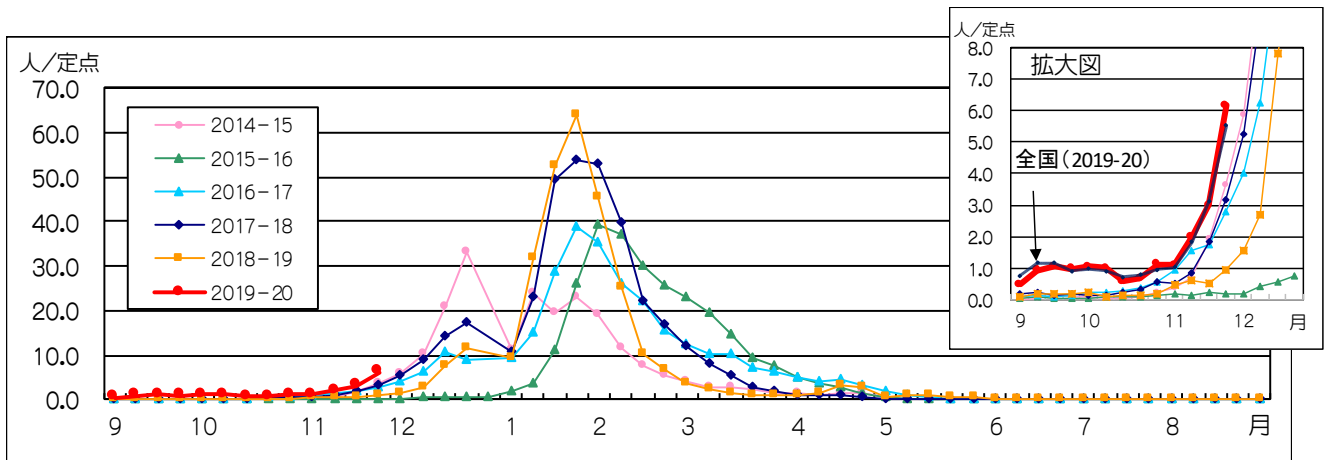


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

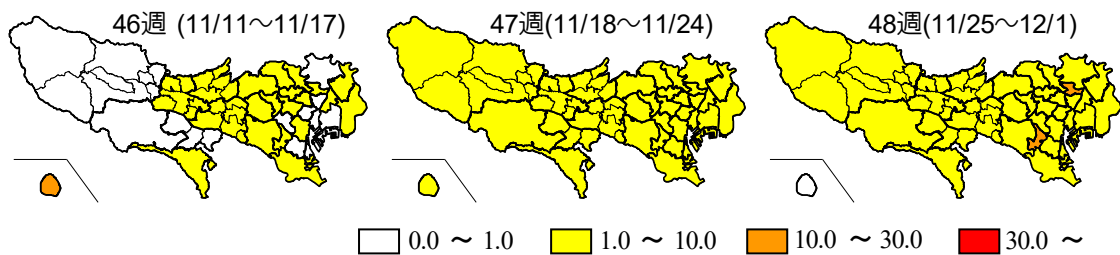


図2. 保健所別定点当たり患者報告数(46～48週)

1 インフルエンザ患者発生状況

第48週(11月25日～12月1日)

【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は2,547人、定点当たり6.17人で、47週の定点当たり3.00人から増加しました(図1)。荒川区(15.00人/定点)、目黒区(12.88人/定点)では、注意報レベルである10人/定点を超えました。また、島しょを除く28保健所では、世田谷(10.00人/定点)、

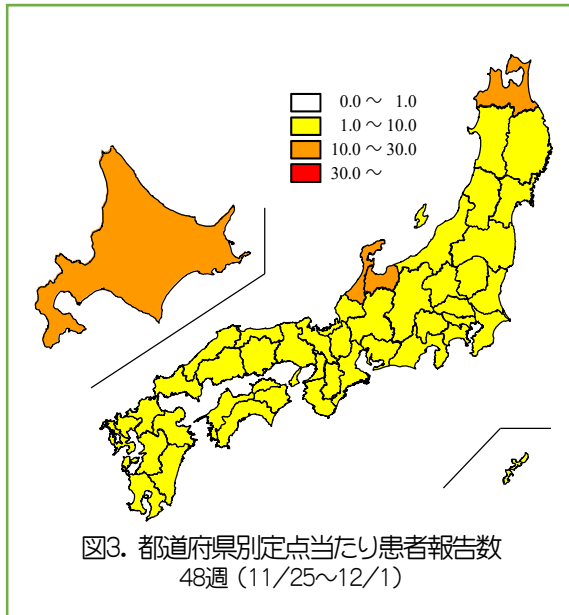
文京(9.00人/定点)等定点当たり患者報告数が1人を超えています。島しょでは、先週から減少(9.50→0.50人/定点)しました(図2)。

* インフルエンザ定点

419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

** 基幹定点

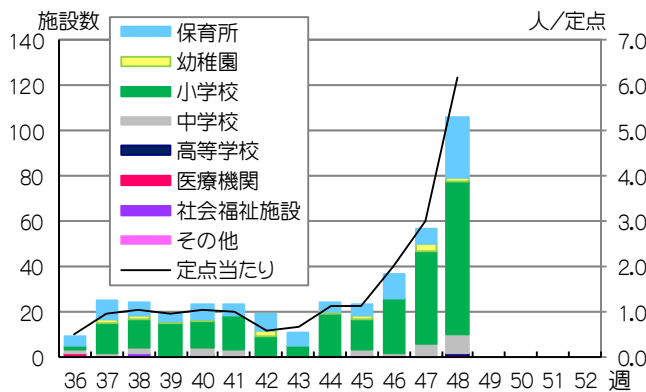
25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。



【全国】患者報告数は27,393人、定点当たり5.52人で、47週(15,438人、3.11人/定点)より増加しました(図1)。北海道(16.76人/定点)の他、青森県(15.48人/定点)、石川県(10.52人/定点)、富山県(10.42人/定点)が注意報レベルに達しました。残る43都府県でも、宮城県(9.23人/定点)、福島県(8.29人/定点)、広島県(8.22人/定点)をはじめ、全ての自治体で定点当たり報告数が1人を超えています。

2 インフルエンザ集団発生状況

48週に、学級閉鎖等が106件(保育所27件、幼稚園1件、小学校68件、中学校8件、高等学校1件、医療機関1件)報告されました(図4)。



3 インフルエンザ入院患者発生状況

基幹定点**から48週に20件(1歳5件、2~9歳8件、10~14歳2件、60~69歳2件、80歳以上3件)報告がありました。

4 ウイルス検査情報

【東京都】46週に、定点医療機関から搬入された検体14件中10件からAH1pdm09が検出されました。

【全国】病原微生物検出情報(IASR)等によると12月5日までに39都道府県からAH1pdm09が、9都道府県からAH3亜型が、15府県からB型(ビクトリア系統14府県、山形系統1県)が報告されています(図5)。

厚生労働省「感染症・予防接種相談窓口」
厚生労働省が、インフルエンザを始めとした感染症の一般的予防方法、流行状況や予防接種の意義、有効性、副反応等に関する問い合わせ窓口を開設しました。
電話番号：03-5276-9337
午前9時~午後5時 土日祝日、年末年始を除く
(厚生労働省が業務委託している民間会社により運営)

◆東京都インフルエンザ情報◆
編集・発行
東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-24-1
TEL：03-3363-3213
FAX：03-5332-7365
S0000786@section.metro.tokyo.jp
http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/

